



11月21日、技能講話が行われました。  
今年度お話をうかがうのは、修了生の大久保公太郎さん、修子さんご夫妻。  
2人でともに歩んできた話です。



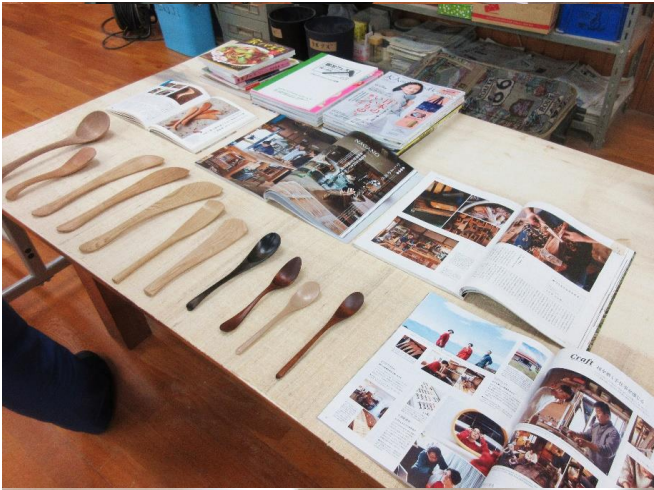
公太郎さんは、大久保ハウス木工舎の屋号で、木べらやカトラリーなどの小木工品を主に製作していらっしゃいます。  
木べら製作の実演も披露してくださいました。  
素早い手つきであつという間に木べらの形が形成されていく様子に訓練生も釘付け。



セレクトした手仕事の商品を扱うGallery senを営まれている修子さん。  
作り手から売り手に製品を卸す立場になった時のことや、コロナ禍での苦労や工夫などお話しくださいました。



木工を志すきっかけから、技専に入校するまでの生活、技専時代の学び、技専修了後の活動、出会い、現在、未来まで大久保家の盛りだくさんの年表。



製品や、大久保ご夫妻を取り上げた書籍などもお持ちくださいました。



大久保さんの製作途中のへらをじっくり観察する訓練生。



馬に掛け、南京鉋を握る訓練生。  
実際にへらを削り、良い体験になりましたね。



大久保ご夫妻には、訓練生の質問にも丁寧にお答えくださり、貴重なお時間をありがとうございました。  
活躍する修了生の姿を目に焼き付け、修了まで3ヶ月少々、一生懸命訓練に向き合いました。